

教科	国語科	学年	第2学年
----	-----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
ことばと であおう ちいさい おおきい	2	◎詩を体を動かしながら声に出して読んだり、日記を書いたりすることを楽しみ、国語学習への意欲をもつ。 ○体を動かしたり、声の大きさを工夫しながら、楽しく読む。 ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付く。 ○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する。 ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像する。	○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	○進んで言葉の響きなどに気を付けて、学習の見通しをもって音読しようとしている。
つづけて みよう -日記-	4	◎毎日の生活を振り返り、日記を書く。 ○長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使う。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使う。 ○経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にする。 ○日記や手紙を書くなど、思ったことや伝えたいことを書く活動。	○長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。	○「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。	○積極的に経験したことから書くことを見付け、学習の見通しをもって日記を書こうとしている。
声の ものしさを つかおう	3	○いろいろな場面で、話す声の大きさを考えて、気をつけて話すことの大切さに気づく。 ○音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話す。 ○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶ。 ○相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考える。 ○伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さを工夫する。	○「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さを工夫している。	○「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さを工夫している。	○積極的に声の大きさや速さを工夫し、学習の見通しをもって話そうとしている。
一 とうじょう人物の した ことに 気を つけて 読もう 「えいっ」	13	◎登場人物の様子を思いうかべながら読み、くまの子になったつもりで音読する。 ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付く。 ○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する。 ○伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さを工夫する。 ○話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつ。 ○場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉える。 ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像する。 ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつ。 ○文章を読んで感じたことや分かったことを共有する。	○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	○「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。 ○「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。 ○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	○進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもっておもしろいところを紹介しようとしている。
ひろい 公園	2	○質問を落とさないように聞き、絵から答えを探す。 ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付く。 ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解する。 ○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶ。 ○相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考える。 ○伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さを工夫する。 ○話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつ。	○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	○「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。	○積極的に自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、学習課題に沿って質問に答えようとしている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
漢字の ひろば ① 画と 書きじゅん	2	○漢字の画と筆順について理解し、正しく書く。 ○学年配当の漢字を読む。また、前学年配当の漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年配置の漢字を暫時書き、文や文章の中で使う。	○前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。		○積極的に漢字の筆順を理解し、学習の見直しをもって正しい筆順で漢字を書こうとしている。
一年生で 学んだ 漢字 ①	2	○絵を見て想像したことをもとに、1年生で学んだ漢字などを使って文を書く。 ○学年配当の漢字を読む。また、前学年配当の漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年配置の漢字を暫時書き、文や文章の中で使う。 ○経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にする。 ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫する。	○【知識・技能】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。	○「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。	○積極的に前学年で配当されている漢字を書き、学習の見直しをもって文を書こうとしている。
二 じゅんじょに 気をつけて 読み、つながりを 見つけよう すみれと あり	13	◎ありとの関わりに気をつけながら、すみれが仲間を増やす仕組みについて説明した文章を読む。 ○文の中における主語と述語との関係に気付く。 ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解する。 ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫する。 ○時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉える。 ○文章の中の重要な語や文を考えて選び出す。 ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつ。 ○文章を読んで感じたことや分かったことを共有する。	○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 ○「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 ○「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。	○進んで時間的な順序や事柄の順序などを考え、内容の大体を捉え、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。
「言葉あそび」を しよう	2	○平仮名四十七文字を全て使った歌のあることを知り、音読する。 ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付く。 ○音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話す。 ○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する。 ○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付く。	○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 ○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている。		○進んで長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付こうとし、学習の見直しをもって音読しようとしている。
かたかなで 書く 言葉	3	○片仮名で書く言葉の種類を知り、正しく使い分ける。 ○長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使う。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使う。 ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにする。	○片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。		○積極的に片仮名で書く語の種類を知ろうとし、今までの学習を生かして文を書こうとしている。
三 本で しらべて しょうかいしよう 図書館で 本を さがそう	2	◎図書館で本を探す方法を知り、生き物について調べたことからクイズを作る。 ○図書館に行き、自分が調べたり読んだりしたいテーマの本を探して、読む。 ○文の中における主語と述語との関係に気付く。 ○読書に親しみ、いろいろな本があることを知る。 ○文章の中の重要な語や文を考えて選び出す。 ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつ。	○読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。	○「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。	○積極的に読書に親しみ、学習の見直しをもって本の探し方を知ろうとしている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
「生きものクイズ」を作ろう	6	<ul style="list-style-type: none"> ○生き物について知りたいことを調べ、クイズを作る。 ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにする。 ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解する。 ○読書に親しみ、いろいろな本があることを知る。 ○経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にする。 ○自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考える。 ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫する。 ○文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりする。 ○文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。 ○「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に必要な事柄を集めたり確かめたりし、学習の見通しをもって「生きものクイズ」を作ろうとしている。
漢字のひろば ② なかまの言葉と漢字	2	<ul style="list-style-type: none"> ○意味をもとに仲間に分けた漢字について理解する。 ○学年配当の漢字を読む。また、前学年配当の漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年配置の漢字を暫時書き、文や文章の中で使う。 ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。 		<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を書き、学習の見通しをもって漢字の意味のつながりを知ろうとしている。
うれしくなる言葉	4	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉が表す意味と、その言葉にこめられる気持ちについて考え、話し合う。 ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付く。 ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにする。 ○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶ。 ○伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に言葉には事物の内容を表す働きや経験したことを伝える働きがあることに気付こうとし、学習の見通しをもって「うれしくなる言葉」を伝え合おうとしている。
四くりかえしに 気をつけて、とうじょう人物の様子を読もう きつねのおきやくさま	15	<ul style="list-style-type: none"> ○繰り返し出てくる言葉に気をつけて読み、繰り返しのあるお話を作る。 ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付く。 ○文の中における主語と述語との関係に気付く。 ○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する。 ○経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にする。 ○文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付ける。 ○場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉える。 ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像する。 ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつ。 ○文章を読んで感じたことや分かったことを共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。 ○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 ○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○進んで場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像し、学習課題に沿って好きな場面を発表しようとしている。
いなばのしろうさぎ	5	<ul style="list-style-type: none"> ○古くから伝わっている話を、興味をもって聞き、場面の様子を想像する。 ○昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。 		<ul style="list-style-type: none"> ○進んで昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、今までの学習を生かして昔話や神話・伝承の書かれた本を探して読もうとしている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
「かんざつ発見カード」を 書こう	4	<ul style="list-style-type: none"> ○観察して同じところや違うところを見つけ、「かんざつ発見カード」を書く。 ○文の中における主語と述語との関係に気付く。 ○共通, 相違, 事柄の順序など情報と情報との関係について理解する。 ○自分の思いや考えが明確になるように, 事柄の順序に沿って簡単な構成を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文の中における主語と述語との関係に気付いている。 ○共通, 相違, 事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「書くこと」において, 自分の思いや考えが明確になるように, 事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○粘り強く事柄の順序に沿って簡単な構成を考え, 学習の見通しをもって「かんざつ発見カード」を書こうとしている。
「言葉のなかまさがしゲーム」をしよう	2	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉が体系性をもって存在していることに気づき, 上位語・下位語の概念に基づいて, 言葉を探したりまとめたりすることができる。 ○身近なことを表す語句の量を増し, 話や文章の中で使うとともに, 言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき, 語彙を豊かにする。 ○共通, 相違, 事柄の順序など情報と情報との関係について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近なことを表す語句の量を増し, 文章の中で使っているとともに, 言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき, 語彙を豊かにしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に, 言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付こうとし, 学習の見通しをもって言葉を分類しようとしている。
話したいな, 聞きたいな, 夏休みのこと	5	<ul style="list-style-type: none"> ○夏休みの思い出を, 順序を考えて話す。 ○言葉には, 事物の内容を表す働きや, 経験したことを伝える働きがあることに気付く。 ○音節と文字との関係, アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに, 姿勢や口形, 発声や発音に注意して話す。 ○身近なことや経験したことなどから話題を決め, 伝え合うために必要な事柄を選ぶ。 ○相手に伝わるように, 行動したことや経験したことに基づいて, 話す事柄の順序を考える。 ○伝えたい事柄や相手に応じて, 声の大きさや速さなどを工夫する。 ○話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き, 話の内容を捉えて感想をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○姿勢や口形, 発声や発音に注意して話している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「話すこと・聞くこと」において, 相手に伝わるように, 行動したことや経験したことに基づいて, 話す事柄の順序を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○進んで相手に伝わるように話す事柄の順序を考え, 今までの学習を生かして夏休みのできごとを紹介しようとしている。
漢字のひろば ③ 二つの漢字できている言葉	2	<ul style="list-style-type: none"> ○二つの漢字できている言葉の構成について, 問題を解きながら確認し, 二つの漢字のつながり方を考える。 ○学年配当の漢字を読む。また, 前学年配当の漢字を書き, 文や文章の中で使うとともに, 当該学年配置の漢字を暫時書き, 文や文章の中で使う。 ○身近なことを表す語句の量を増し, 話や文章の中で使うとともに, 言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき, 語彙を豊かにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。 		<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を書き, 学習の見通しをもって二つの漢字できている言葉を読んだり書いたりしようとしている。
漢字のひろば ③ 一年生で学んだ漢字 ②	2	<ul style="list-style-type: none"> ○絵を見て想像したことをもとに, 1年生で学んだ漢字などを使って文を書く。 ○学年配当の漢字を読む。また, 前学年配当の漢字を書き, 文や文章の中で使うとともに, 当該学年配置の漢字を暫時書き, 文や文章の中で使う。 ○文の中における主語と述語との関係に気付く。 ○自分の思いや考えが明確になるように, 事柄の順序に沿って簡単な構成を考える。 ○語と語や文と文との続き方に注意しながら, 内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文の中における主語と述語との関係に気付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「書くこと」において, 語と語や文と文との続き方に注意しながら, 内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に文の中における主語と述語の関係に気付こうとし, 学習の見通しをもって文や文章を書こうとしている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
五 したことや言ったことから、登場人物の考えを読もう わにのおじいさんのたからもの	12	◎登場人物のしたことを思い浮かべながら読み、登場人物に手紙を書く。 ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付く。 ○自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考える。 ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫する。 ○場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉える。 ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像する。 ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつ。 ○文章を読んで感じたことや分かったことを共有する。	○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。	○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 ○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 ○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。	○進んで場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像し、学習課題に沿って登場人物に手紙を書くこととしている。
はんたいのいみの言葉、にたいみの言葉	2	○対義語や類義語があることを知り、身近な言葉から対義語や類義語を集めることができる。 ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにする。 ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解する。	○身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。		○積極的に言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付こうとし、学習の見通しをもって言葉を分類しようとしている。
六 まとまりを考えて書こう 町の「すてき」をつたえます	11	◎「はじめ」「中」「おわり」のまとまりを考えて、町探検報告文を書く。 ○長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使う。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使う。 ○経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にする。 ○自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考える。 ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫する。 ○文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりする。 ○文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付ける。	○長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。	○「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 ○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 ○「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けているとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。	○積極的に事柄の順序に沿って簡単な構成を考え、今までの学習を生かして報告する文章を書くこととしている。
七 しゃしんをくらべて、考えよう	2	◎1枚めの写真から視点を定めて、2枚めの写真になった際、何かが起きたことを想像する。			

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
この間に何があった?		<ul style="list-style-type: none"> ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付く。 ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにする。 ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解する。 ○自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考える。 ○時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉える。 ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 ○「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 ○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解し、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。
一 じゅんじょや様子に気をつけて読もう さけが大きくなるまで	11	<ul style="list-style-type: none"> ◎さけの成長について、季節や場所、さけの様子の移り変わりを考えながら、内容の大体を読む。 ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付く。 ○文の中における主語と述語との関係に気付く。 ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解する。 ○相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考える。 ○時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉える。 ○文章の中の重要な語や文を考えて選び出す。 ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつ。 ○文章を読んで感じたことや分かったことを共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。 ○「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 ○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に文章の中の重要な語や文を考えて選び出し、学習課題に沿ってさけが大きくなる様子を説明しようとしている。
二 様子をよく見て、くわしく書こう おもしろいもの、見つけたよ	10	<ul style="list-style-type: none"> ○見つけた物の様子をよく見て、様子が伝わるように詳しく書く。 ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにする。 ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解する。 ○経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にする。 ○自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考える。 ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫する。 ○文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりする。 ○文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 ○「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○進んで文章に対する感想を伝え合い、学習の見通しをもって記録する文章を書こうとしている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
しを読もう てんとむし 木	2	<ul style="list-style-type: none"> ○イメージの自由な広がりとおして、詩を楽しむ。 ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにする。 ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像する。 ○文章を読んで感じたことや分かったことを共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○進んで言葉の響きなどに気を付けて、学習の見通しをもって感想を発表しようとしている。
三 だれが、どのようにかわったかを考えて読もう ないた赤おに	7	<ul style="list-style-type: none"> ○登場人物のしたことや言ったこと、場面の様子を読み、読書の世界を広げる。 ○登場人物の気持ちの移り変わりを考えながら、『ないた赤おに』を読み、心に残ったことを話し合う。 ○文の中における主語と述語との関係に気付く。 ○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する。 ○場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉える。 ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像する。 ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつ。 ○文章を読んで感じたことや分かったことを共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 ○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○進んで場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像し、学習課題に沿って心に残ったところを文章にまとめようとしている。
「お話びじゅつかん」を作ろう	5	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の読んだ本の中でいちばん心に残ったところを絵に描いて紹介する。 ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付く。 ○読書に親しみ、いろいろな本があることを知る。 ○場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉える。 ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像する。 ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつ。 ○文章を読んで感じたことや分かったことを共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 ○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって本を紹介しようとしている。
四 しつもんしたり答えたりして、話し合おう 「クラスお楽しみ会」をひらこう	8	<ul style="list-style-type: none"> ◎話し合いでクラスで行う遊びを決め、「クラスお楽しみ会」を開く。 ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付く。 ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解する。 ○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶ。 ○相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考える。 ○伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫する。 ○話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつ。 ○互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなぐ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつないでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に互いの話に関心を持ち、今までの学習を生かして少人数で話し合おうとしている。
みじかい言葉で	5	<ul style="list-style-type: none"> ○心が動いたことを短い言葉で書く。 ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付く。 ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにする。 ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に語と語や文と文との続き方に注意しながら、学習の見通しをもって心が動いたことを短い言葉で書こうとしている。
漢字の広場 ④ 漢字のつかい方と読み方	2	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字の使い方や読み方、意味などを考えて漢字を正しく使う。 ○学年配当の漢字を読む。また、前学年配当の漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年配置の漢字を暫時書き、文や文章の中で使う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。 		<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を読み、学習の見通しをもって漢字を正しく使おうとしている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
漢字の広場 ④ 一年生で学んだ漢字 ③	2	<ul style="list-style-type: none"> ○絵を見て想像したことをもとに、1年生で学んだ漢字などを使って文を書く。 ○学年配当の漢字を読む。また、前学年配当の漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年配置の漢字を暫時書き、文や文章の中で使う。 ○文の中における主語と述語との関係に気付く。 ○自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考える。 ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に前学年で配当されている漢字を書き、学習の見直しをもって文や文章を書くようとしている。
五 わかりやすくせつめいするための、くふうをたしかめよう 「しかけ絵本」を作ろう	12	<ul style="list-style-type: none"> ◎説明の順序を正しく捉えながら読み、おもちゃの作り方を説明する。 ○説明の順序に気をつけながら、「しかけ絵本」の仕組みや作り方を書いた文章を読む。 ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付く。 ○自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考える。 ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫する。 ○時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉える。 ○文章の中の重要な語や文を考えて選び出す。 ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつ。 ○文章を読んで感じたことや分かったことを共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 ○「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 ○「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○進んで時間的な順序や事柄の順序などを考え、学習課題に沿って「しかけ絵本」を作ろうとしている。
おもちゃのせつめい書を書こう	7	<ul style="list-style-type: none"> ○おもちゃの作り方や遊び方の順序を考えて、説明書を書く。 ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付く。 ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解する。 ○経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にする。 ○自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考える。 ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫する。 ○文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりする。 ○文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 ○「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けているとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○粘り強く語と語や文と文との続き方に注意し、学習の見直しをもって説明する文章を書くようとしている。
しを読もう せかいじゅうの海が	2	<ul style="list-style-type: none"> ○イメージの自由な広がりをおとして、詩を楽しむ。 ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにする。 ○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する。 ○場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉える。 ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像する。 ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつ。 ○文章を読んで感じたことや分かったことを共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に文章を読んで感じたことや分かったことを共有し、学習の見直しをもって想像したことを発表しようとしている。
六 場面や人物の様子をくわしく読もう		<ul style="list-style-type: none"> ○様子を詳しく読んで、読み方を工夫して音読発表会を開く。 			

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
かさこじぞう	11	<ul style="list-style-type: none"> ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにする。 ○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する。 ○昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむ。 ○伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫する。 ○話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつ。 ○場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉える。 ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像する。 ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつ。 ○文章を読んで感じたことや分かったことを共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。 ○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 ○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○進んで場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像し、学習の見通しをもって音読発表会をしようとしている。
むかしのあそび	3	<ul style="list-style-type: none"> ○日本に古くから伝承されている昔遊び(正月遊び)を知り、実際に遊ぶことを通してその魅力を知る。 ○昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむ。 ○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている。 		<ul style="list-style-type: none"> ○進んで長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付き、学習の見通しをもってかるたを楽しもうとしている。
むかしのあそびをせつめいしよう	4	<ul style="list-style-type: none"> ○昔の遊びについて、遊び方を調べて説明する。 ○音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話す。 ○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶ。 ○相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考える。 ○伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫する。 ○話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○進んで相手に伝わるように話す事柄の順序を考え、今までの学習を生かして昔の遊びの遊び方を説明しようとしている。
主語とじゅつ語	3	<ul style="list-style-type: none"> ○文を読んで、主語と述語の対応を考え、正しく使うことができる。 ○文の中における主語と述語との関係に気付く。 ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文の中における主語と述語との関係に気付いている。 		<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に文の中における主語と述語との関係に気付き、学習の見通しをもって文を読んだり書いたりしようとしている。
漢字の広場 ⑤ 同じ読み方の漢字	2	<ul style="list-style-type: none"> ○同じ読み方の漢字を集め、漢字を正しく使う。 ○学年配当の漢字を読む。また、前学年配当の漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年配置の漢字を暫時書き、文や文章の中で使う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。 		<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に当該学年までに配当されている漢字を読み、学習の見通しをもって同じ読み方の漢字を正しく使おうとしている。
七 じゅんじょに気をつけて書こう	13	<ul style="list-style-type: none"> ○したことや身のまわりのできごとの中から書くことを見つけ、思い出して、順序を考えて 			

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
こんなことができるようになったよ		<ul style="list-style-type: none"> ○長音, 拗音, 促音, 撥音などの表記, 助詞の「は」, 「へ」及び「を」の使い方, 句読点の打ち方, かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使う。また, 平仮名及び片仮名を読み, 書くとともに, 片仮名で書く語の種類を知り, 文や文章の中で使う。 ○丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うとともに, 敬体で書かれた文章に慣れる。 ○経験したことや想像したことなどから書くことを見付け, 必要な事柄を集めたり確かめたりして, 伝えたいことを明確にする。 ○自分の思いや考えが明確になるように, 事柄の順序に沿って簡単な構成を考える。 ○語と語や文と文との続き方に注意しながら, 内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫する。 ○文章を読み返す習慣を付けるとともに, 間違いを正したり, 語と語や文と文との続き方を確かめたりする。 ○文章に対する感想を伝え合い, 自分の文章の内容や表現のよいところを見付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○長音, 拗音, 促音, 撥音などの表記, 助詞の「は」, 「へ」及び「を」の使い方, 句読点の打ち方, かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「書くこと」において, 語と語や文と文との続き方に注意しながら, 内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 ○「書くこと」において, 文章を読み返す習慣を付けているとともに, 間違いを正したり, 語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。 ○「書くこと」において, 文章に対する感想を伝え合い, 自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に, 間違いを正したり, 語と語や文と文との続き方を確かめたりし, 学習の見直しをもって文章を書こうとしている。
音や様子をあらわす言葉	3	<ul style="list-style-type: none"> ○擬声語や擬態語のはたらきなどを理解し, 文の中で使うことができる。 ○長音, 拗音, 促音, 撥音などの表記, 助詞の「は」, 「へ」及び「を」の使い方, 句読点の打ち方, かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使う。また, 平仮名及び片仮名を読み, 書くとともに, 片仮名で書く語の種類を知り, 文や文章の中で使う。 ○身近なことを表す語句の量を増し, 話や文章の中で使うとともに, 言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き, 語彙を豊かにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近なことを表す語句の量を増し, 文章の中で使っているとともに, 言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き, 語彙を豊かにしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に, 言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き, 学習の見直しをもって文の中で使おうとしている。
漢字の広場 ⑥ 組み合わせでできている漢字	2	<ul style="list-style-type: none"> ○同じ部分をもつ漢字を集め, 漢字を正しく使う。 ○学年配当の漢字を読む。また, 前学年配当の漢字を書き, 文や文章の中で使うとともに, 当該学年配当の漢字を暫時書き, 文や文章の中で使う。 ○共通, 相違, 事柄の順序など情報と情報との関係について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。 		<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に当該学年までに配当されている漢字を読み, 学習の見直しをもって同じ部分をもつ漢字を正しく使おうとしている。
漢字の広場 ⑥ 一年生で学んだ漢字 ④	2	<ul style="list-style-type: none"> ○絵を見て想像したことをもとに, 1年生で学んだ漢字などを使って文を書く。 ○学年配当の漢字を読む。また, 前学年配当の漢字を書き, 文や文章の中で使うとともに, 当該学年配当の漢字を暫時書き, 文や文章の中で使う。 ○文の中における主語と述語との関係に気付く。 ○語と語や文と文との続き方に注意しながら, 内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫する。 ○文章を読み返す習慣を付けるとともに, 間違いを正したり, 語と語や文と文との続き方を確かめたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「書くこと」において, 語と語や文と文との続き方に注意しながら, 内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に前学年で配当されている漢字を書き, 学習の見直しをもって文を書こうとしている。
八 場面の様子や登場人物の行動に気をつけて読もう アレクサンダとぜんまいねずみ	16	<ul style="list-style-type: none"> ○お話の順序に気をつけて読み, あらすじをまとめて紹介する。 ○言葉には, 事物の内容を表す働きや, 経験したことを伝える働きがあることに気付く。 ○自分の思いや考えが明確になるように, 事柄の順序に沿って簡単な構成を考える。 ○場面の様子や登場人物の行動など, 内容の大体を捉える。 ○場面の様子に着目して, 登場人物の行動を具体的に想像する。 ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて, 感想をもつ。 ○文章を読んで感じたことや分かったことを共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉には, 事物の内容を表す働きや, 経験したことを伝える働きがあることに気付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「書くこと」において, 自分の思いや考えが明確になるように, 事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 ○「読むこと」において, 文章の内容と自分の体験とを結び付けて, 感想をもっている。 ○「読むこと」において, 文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○進んで文章の内容と自分の体験とを結び付けて, 感想をもち, 学習課題に沿って文章にまとめようとしている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
国語の学習 これまで これから	2	<ul style="list-style-type: none"> ○一年間の国語学習を振り返ったり、これからの学習について考えたりして、楽しみながら学習できるようにする。 ○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶ。 ○話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつ。 ○経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にする。 ○文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付ける。 		<ul style="list-style-type: none"> ○「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。 ○「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○進んで経験したことから書くことを見付け、今までの学習を生かして思い出したことや三年生でどんな学習をしたいかを共有しようとしている。

… … … …
… … … …

